

「特別の教科 道徳」が、二〇一八年四月より小学校において、さらに二〇一九年四月からは中学校においても開始される今、近年の道徳の教科化をめぐる議論の原点ともいえる、一九四五五年の敗戦から一九五九年における道徳教育の成立過程を考察！

戦後日本の

道徳教育の成立

修身科の廃止から「道徳」の特設まで

佟占新 著

Tong Zhanxin

敗戦後、GHQの指令によって「修身科」が廃止され、その後一九五八年に「道徳の時間」が特設された。

本書は、道徳の教科化を考察する上で重要な戦後初期の諸議論を、文部省（当時）が発した文書や国会議事録はもとより、

当時の教育雑誌や新聞など広範囲の資料に当たって分析し、道徳教育はいかに行へべきと考えられたかという教育方法の視点を取り入れて、

戦後日本の道徳教育の成立過程を考察した好書。

2019年
3月刊行!

定価：4,200円+税
体裁：A5判・上製・224ページ
ISBN978-4-86617-077-0



倉石一郎（京都大学大学院人間・環境学専攻教授）

推薦のことば

教育史研究を登山にたとえるなら、戦後史研究をこころざすのはヒマラヤ山脈に挑むのに等しい。まして道徳をテーマに選ぶなど、最高峰のエベレストに素手で登ろうとするようなものかもしれない。じつに向こう見ずな試みだ。だが著者、佟占新さんはその登攀を見事にやっつてのけた。とはいえむろん素手で登山したわけではない。教育の仕組みと歴史に関する幅広い知識と深い洞察に裏打ちされた、地道で粘り強い資料の解読作業―それを可能にする然るべき装備があつてこそ、困難な路がひらけたのだろう。

戦後一貫して道徳教育ほど、激しいイデオロギー論争に巻き込まれ、それを語ることはが手垢にまみれてきた

トピックはめずらしい。だが口角泡を飛ばす論者たちが、意外にも道徳教育にまつわる基本的史実すらおさえていない場合が多い。かくいう私も、一九五八年の「道徳の時間」特設を戦後教育史上の「汚点」とみる通俗的史観に、自分がいかにとらわれていたかを本書で思い知らされた。「時間」特設をどう評するかは最終的には各人に帰すべきことだが、少なくともその背景に、かくも多くの人がとが関わった真摯で興味深い論争が存在したことを忘れてはなるまい。道徳教育はもちろん、教育にかかわるあらゆるトピックに関心をもつ人に本書を強くすすめたい。

はしがき

序章 本書の視角

- 第一節 問題関心と研究の目的
- 第二節 先行研究の検討
- 第三節 本書の射程と構成

第1章 戦後日本における道德教育の出発

- 第一節 新公民科の設置
- 第二節 全面主義道德教育論の登場
- 第三節 社会科の発足と道德教育

第2章 德育教科の設置をめぐる議論の登場

- 第一節 修身科復活論が登場した社会的背景
- 第二節 天野貞祐文相の修身科復活論
- 第三節 天野貞祐文相以降の德育教科の必要論と世論の反応

第3章 「道德」の特設経緯

- 第一節 一九五六年度までの教育課程審議会での議論
- 第二節 一九五七年度の教育課程審議会での審議と「道德」の特設
- 第三節 時間として特設された理由
- 第四節 「道德」の位置づけ

第4章 「道德」特設に対する賛否両論とその道德教育観

- 第一節 内藤誉三郎局長の考え方
- 第二節 「道德」特設反対派の考え方
- 第三節 「道德」特設賛成派の考え方

終章 戦後日本における道德教育の成立とその道德教育観

- 参考文献一覧
- あとがき
- 索引

●著者紹介

佟占新 (トン・チャンシン)

1982年 中国遼寧省阜新市生まれ
 2018年 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了、博士(人間・環境学)
 現在、海南大学外国語学院講師(中国)

*小社は注文制です。お近くの書店にご注文ください。
 お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。

電話 03(32263)8787 FAX 03(32263)8788 Eメール info@rikka-press.jp

発行 六花出版 佟占新 著

戦後日本の道德教育の成立

修身科の廃止から「道德」の特設まで

定価 本体四、一〇〇円＋税 ISBN978-4-86617-077-0

注文カード

帖合・書店名

(八木書店経由)

注文数

冊

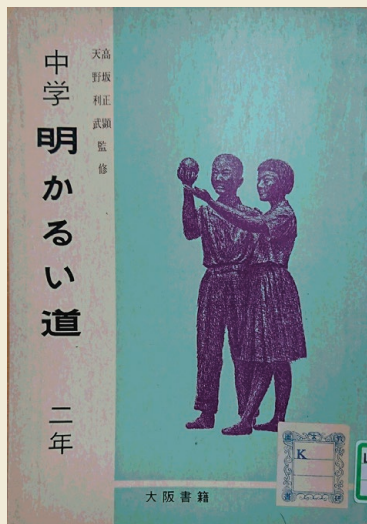
お名前

電話番号

注文 年 月 日



天野貞祐 (「獨協学園史資料センター」提供)



「中学 明かるい道 二年」
(1958年8月 大阪書籍)